

神奈川新聞Webサイトより



重症心身障害児施設の入所者らの前で寄贈したピアノを演奏する関さん＝横浜市南区の県立こども医療センター

難病や障害がある子どもと家族を支援するNPO法人「スマイルオブキッズ」

の理事でピアニストの関孝弘さんが、県立こども医療センター（横浜市南区）の重症心身障害児施設にグランドピアノを寄贈した。同施設で26日、贈呈式とミニコンサートが開かれた。

関さんは約2年前から、定期的に同施設を訪問。ボランティアで演奏会の開催を続けてきたほか、同センターが進める音楽医療の研究に協力してきた。

しかし同施設には、古いアップライトピアノしかなく、「子どもたちにより良い状態で音楽を聴かせてあげたい」という思いからグランドピアノの寄贈を決めた。購入資金は、昨年から日本やイタリアでのコンサートで寄付を募り、集めたという。

同センターの山下純正病院長から感謝状を手渡された関さんは「このピアノには日本とイタリアの大勢の人たちの温かい気持ちが詰まっている。これからも子どもたちに笑顔が広がるよう、さらなる支援をしていきたい」とあいさつ。子どもたちの前でショパンの「ノクターン」やモーツァルトの「トルコ行進曲」など計6曲を演奏した。

次女（6）が同施設に入所している男性は「なかなか聴くことのできない素晴らしい音楽を施設の中で聴くことができた。娘も音楽の良さや楽しさを感じることができたと思う」と話していた。

同施設には、重度の障害のある40人が入所。医師や看護師、保育士らが連携し、医療ケアや生活支援を行っている。

毎日新聞神奈川版紙面より

28
神奈川
相模
2013年(平成25年)10月27日(日)
聞
新
日
毎



重症心身障害児施設にグランドピアノを寄付 ピアニストの関さん

ピアニストの関孝弘さん(60)＝東京都世田谷区＝が県立こども医療センター（横浜市南区）の重症心身障害児施設にグランドピアノを寄付することになり、26日に同施設で贈呈式があった。

関さんは同センター近くの患者と家族の滞在施設「リラのいえ」の運営を長年支援し、2011年からピアノ演奏が重症心身障害児に与える影響などを調べる同センターの研究に協力している。研究やコンサートに使う同施設のピアノが古いため、約1年前からイタリアと国内でコンサートを開く際に寄付を募っていた。

贈呈式には患者や病院関係者ら約50人が出席。関さんは「このピアノには日本とイタリアの温かい気持ちが詰まっている」と話した＝写真。 【一條優太】